

# 日本一絆一モンゴル

2017年3月6日発行 No.1

日本モンゴル障がい児交流会代表 日本サーバス近畿支部長

3月に入り、寒かった冬も終わって梅の花が春を運んでくれました。

モンゴルとの交流にいつもご協力くださり、ありがとうございます。2016年夏、モンゴルキャンプに参加した者は、その後も2度会合を持ち、絆を深めています。キャンプについては、報告集を作って報告致しましたので、その後の事についてお知らせします。

## モンゴルキャンプ思い出会

藤井寺市 T.S

日 時： 平成28年10月16日（日） 11:30~15:00

場 所： イタリアンレストラン「オステリア ニンナナンナ」  
大阪市中央区久宝寺寺町1-7-16 (Tel: 06-6263-8008)

参加者： 13名

テーマ： 日本・モンゴル交流キャンプの思い出と今後の活動について。  
レストランの名前、「ニンナナンナ」はイタリア語で子守唄の意味で、どんなお客様にも安らいでいただけるお店を目指されています。ソムリエでもあるシェフは、若き日にイタリアのフィレンツェで修業され、シェフが、「うまい！すごい！」と感じたことをそのままお店で紹介されています。私たちは数々運ばれてくるめっちゃ美味しい料理の数々に大満足でした。



### 1. 思い出の交換

「その後の体調は？」「2週間位調子が悪かった」など、下痢で大変な思いはしましたが、下痢も含めて楽しかった良き思い出が話されました。キャンプの写真をまとめて編集したアルバム、キャンプの写真を中心にして作った本、キャンプ中の楽しい絵日記等、皆の創意溢れる記念の数々、思わず見入り、改めて素晴らしかったキャンプを思い出しました。キャンプ後、モンゴルの人とメールで交流している人、高校生は何とモンゴルの文字でメールを送ったのです。モンゴルの方を自宅に泊めている人、キャンプをきっかけに楽しい交流が生まれ育っています。

### 2. キャンプ費用

キャンプでの活動費としてモンゴルの方の分も含めて過去に集めた寄付金等から約47万円を使用しました。

### 3. 日本サーバス、モンゴルサーバス、日本モンゴル障がい児交流会の説明と紹介

#### 4. 次回の取り組みについて

次回はモンゴルから日本に来てもらって、日本、モンゴル障がい児家族の交流をしよう。

時期： 2018年春休みの1週間

内容： 京都、大阪、奈良等での観光とショッピング、障がい児家族の交流（アミティ舞洲等で）

費用： 日本からの参加者は実費負担、モンゴルの方は日本滞在中の費用はお土産等個人に属するものを除いて無料にする。そのため、寄付を集める。



参加児童の絵日記より

人数：日本モンゴル両国とも障がい児家族 10 人、サポーター5 人位を目途とする。

以上、前向きな意見が多く、今後も活動を継続し定期的に会合（忘年会等）をする事になりました。

### キャンプ参加者忘年会

和泉市 A.K

12月3日（日）は、お天気も良く冬の寒さを感じることもない暖かい日でした。11時30分より13時10分まで、オステリア ニンナ ナンナで、おいしいイタリア料理をコースでいただきました。みなさんは、ひとつひとつ丁寧に作られたお料理を見て、珍しい食材、作り方を聞いていました。

参加者は 10 人です。検討した内容は、モンゴルの方たちの受け入れはどうかと前回に続いて



アイデアを出し合いました。日程は、2018年（平成30年）で1週間くらいの予定。関空到着後、サーバス会員宅等にホームステイ、その後、モンゴルは海がないので、海のすぐそばにあり、数々の海の活動が楽しめる大阪府立海洋センターに泊まったかどうか？と、前回のアミティ舞洲に加えて子供達の楽しめる場所等を考えてみました。大阪府立海洋センターでは、宿泊と、海の体験としてカッター、船に乗る、

磯遊び、バーベキュー等が出来ます。みさき公園では遊園地とイルカのショー、奈良公園では大仏と鹿、嵐山を歩いてサルを見る、梅小路公園の交通博物館、京都動物園、天王寺動物園、モンゴルの人の大好きな買い物はりんくうアウトレット等、色んなアイデアが出ました。

次は4月中旬位に大阪府立海洋センターに下見に行こうと考えています。進学されて、忙しくなる方もいらっしゃると思いますが、是非、参加してください。

### 日本モンゴル障がい児交流会

目的	モンゴルの障がい児及び障がい者がより良い環境の中で過ごせるように、日本、モンゴルが力を合わせて取り組む
活動	上記の目的が達せられるよう、創意、工夫をこらして、活動する
本部	本部は日本モンゴル障がい児交流会代表宅とする
代表	日本サーバス近畿支部長
運営委員	日本サーバス近畿支部役員 6 名 近畿支部に属するサーバス本部役 2 名 大阪 LD 親の会「おたふく会」会員 1 名 キャンプ参加者 1 名
会計	1 名（運営委員から）
会計監査	1 名（運営委員から）
会員	モンゴル障がい児教育研修にご協力くださった方、モンゴルキャンプ参加者に意向をお聞きして願います。 2017/3/1 現在 日本サーバス会員約 250 名 研修協力指導者 3 名 支援金協力者 3 名 大阪 LD 親の会「おたふく会」会員 2 名 モンゴルキャンプ参加者 3 名 その他 2 名
経費	支援金の残金で運営する。新たに必要が出てきた時は随時相談する。
会計	会計年度は 1 月 1 日に始まり、12 月 31 日に終わる。
会議等	必要に応じて行う
	・顧問が必要な場合は、モンゴル障がい児教育研修にご協力くださった方の中より、意向をお伺いして願います。